

専攻主科目名

神経学（板橋）

◆問合わせ連絡先 担当：脳神経内科学講座 小林俊輔

E-mail skoba-ky@med.teikyo-u.ac.jp

TEL 03-3964-1211（内線・モバイル：7031）

HP（研究室・診療科） <https://www.teikyo-hospital.jp/medical/nerve/index.html>

◆帝京脳神経内科(本院)の特徴

神経学 = 神経内科の本質 : 病歴、問診、診察から疾患の本質に迫る**症候学**を学ぼう！

日本神経学会教育施設に認定されている当科で研修すれば、**神経内科専門医**になれます。

神経救急 = 神経内科の真髄 : 頭痛、めまい、意識消失発作、しびれ・脱力、脳梗塞(rtPA治療を含む)などの**救急・プライマリケア疾患診療**に力を入れています。

神経筋電気診断 = 究極の技 : 多くの施設から患者が紹介され、研修・見学者も来ています。臨床神経生理学会専門医になれます。

高次脳機能障害学 = 究極の症候学 : 人間性の本質である高次脳機能の評価、診断能力を身につけ、高齢化に伴い増加する認知症診療に対応できるようになれます。認知症学会専門医、臨床神経心理士になれます。

神経内科学大学院での研究内容

- ☆ 神経筋電気診断学(指導:小林俊輔教授、園生雅弘視能矯正学科教授、畑中裕己准教授、北國圭一講師、神林隆道助教):神経伝導検査、針筋電図、体性感覚誘発電位などの検査、及び、神経筋疾患への臨床応用についての研究
- ☆ 神経心理学(指導:小林俊輔教授、永井知代子客員講師・帝京平成大学教授):前頭葉機能障害に関する研究、進行性失語の亜型分類に関する研究、大脳基底核疾患の高次脳機能に関する研究
- ☆ 細胞生物学(指導:斉藤史明教授):筋ジストロフィーの病態解明、分子標的治療の開発、悪性腫瘍の浸潤抑制などについての研究
- ☆ その他希望に応じて、関係施設専門家を紹介します。

最近の大学院生の状況とキャリア

パス

テーマ

論文

社会人大学院1年目(2018愛媛大卒)	神経心理研究中	病棟業務中心
社会人大学院2年目(2019帝京卒)	病棟業務中心	電気生理
社会人大学院3年目(2018帝京卒)	研究中	電気生理
社会人大学院3年目(2012慈恵卒)	研究中	電気生理
2023大学院卒(2016帝京卒, 臨床助手)	研究中	
2023広島院卒(当科で指導, 2013広大卒)	->広大勤務	
2022大学院卒(2013岡山卒)	->他院勤務	
2022北里大学院卒(当科で指導, 2012北里卒)	→北里大勤務、国際学会受賞	
2020大学院満期退学(2012帝京卒)	→学位取得 臨床助手	
2019横浜市大大大学院卒(当科で指導, 2006横市卒)	→横浜市大勤務	
2019大学院満期退学(2011帝京卒)	→臨床助手、2022学位授与	
2017大学院卒(2009順天卒)	→助教、国際学会受賞	

☆ 研究成果は国内・国際学会で発表

☆ 論文は英文で

☆ 大学院卒業後は臨床助手・関連病院 常勤などのパスを用意